



令和6年3月27日
道路局 高速道路課

高速道路会社への事業許可について

本日、別紙の事業について、道路整備特別措置法第3条に基づき、国土交通大臣より高速道路会社へ事業許可を行いましたのでお知らせします。

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 小島（内線：38314）

企画専門官 田中（内線：38315）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500

4車線化箇所

	事業区間名	延長	事業費	都道府県
道東自動車道	<small>おいわけちやう</small> 追分町 IC <small>ゆうぱり</small> ～夕張 IC	4.1km	約 250 億円	北海道
秋田自動車道	<small>よこてきた</small> 横手北スマート IC <small>おおまがり</small> ～大曲 IC	7.9km	約 360 億円	秋田県
常磐自動車道	<small>やまもとみなみ</small> 山元南スマート IC <small>やまもと</small> ～山元 IC	5.5km	約 210 億円	宮城県
磐越自動車道	<small>にしあいづ</small> 西会津 IC <small>つがわ</small> ～津川 IC	8.7km	約 660 億円	新潟県
東海北陸自動車道	<small>ひだきよみ</small> 飛騨清見 IC <small>しらかわごう</small> ～白川郷 IC	4.3km	約 300 億円	岐阜県
山陰自動車道	<small>まつえたまつくり</small> 松江玉造 IC <small>しんじ</small> ～宍道 JCT	3.0km	約 180 億円	島根県
徳島自動車道	<small>みま</small> 美馬 IC <small>よしのがわ</small> ～吉野川 SA スマート IC	4.8km	約 260 億円	徳島県
松山自動車道	<small>いよ</small> 伊予 IC <small>うちこいかざき</small> ～内子五十崎 IC	5.3km	約 400 億円	愛媛県
東九州自動車道 (椎田道路)	<small>みやこ</small> 豊津 IC <small>ついき</small> ～築城 IC	1.2km	約 70 億円	福岡県
東九州自動車道	<small>すえよしたからべ</small> 末吉財部 IC <small>こくぶ</small> ～国分 IC	7.1km	約 520 億円	鹿児島県
西九州自動車道 (武雄佐世保道路)	<small>たけおみなみ</small> 武雄南 IC <small>はさみありた</small> ～波佐見有田 IC	4.6km	約 350 億円	佐賀県 長崎県
	合計	56.5km	約 3,560 億円	

準備調査箇所

	事業区間名	延長	都道府県	実施内容
富津館山道路	富津竹岡IC <small>ふつつたけおか</small> ～鋸南保田IC <small>きよなんほた</small>	6.8km	千葉県	都市計画等 法的手続きが必要
東海北陸自動車道	飛驒清見IC <small>ひだきよみ</small> ～白川郷IC <small>しらかわごう</small>	11.9km	岐阜県	長大トンネルの 施工検討が必要
舞鶴若狭自動車道	三方五湖スマートIC <small>みかたごこ</small> ～若狭三方IC <small>わかさみかた</small>	1.6km	福井県	施工計画検討が必要
東九州自動車道	行橋IC <small>ゆくはし</small> ～みやこ豊津IC <small>とよつ</small>	5.5km	福岡県	都市計画等 法的手続きが必要
東九州自動車道	臼杵IC <small>うすき</small> ～津久見IC <small>つくみ</small>	4.2km	大分県	都市計画等 法的手続きが必要
	合計	30.0km		

4車線化実施箇所・準備調査箇所

優先整備区間
(約880km)

■ : R6.3事業化対象区間
■ : R6.3準備調査対象区間

■ 高速道路(有料区間)の整備状況(R5.4.1時点)

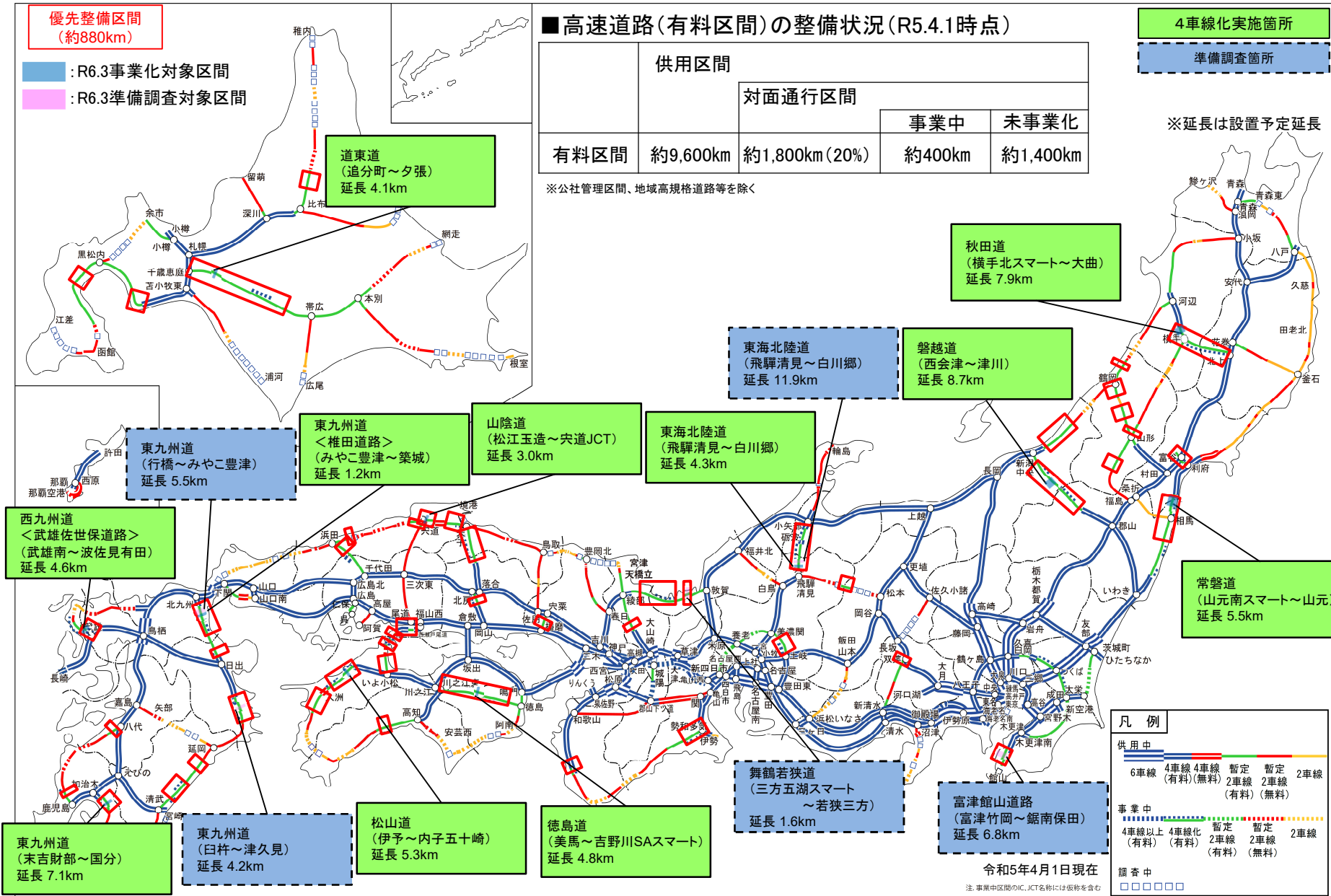
有料区間	供用区間		対面通行区間	
	約9,600km	約1,800km(20%)	事業中	未事業化
			約400km	約1,400km

※公社管理区間、地域高規格道路等を除く

4車線化実施箇所

準備調査箇所

※延長は設置予定延長



西九州道
＜武雄佐世保道路＞
(武雄南～波佐見有田)
延長 4.6km

東九州道
(末吉財部～国分)
延長 7.1km

東九州道
(行橋～みやこ豊津)
延長 5.5km

東九州道
(臼杵～津久見)
延長 4.2km

東九州道
＜椎田道路＞
(みやこ豊津～築城)
延長 1.2km

松山道
(伊予～内子五十崎)
延長 5.3km

山陰道
(松江五造～宍道JCT)
延長 3.0km

徳島道
(美馬～吉野川ISAスマート)
延長 4.8km

東海北陸道
(飛騨清見～白川郷)
延長 4.3km

舞鶴若狭道
(三方五湖スマート～若狭三方)
延長 1.6km

富津館山道路
(富津竹岡～鋸南保田)
延長 6.8km

東海北陸道
(飛騨清見～白川郷)
延長 11.9km

磐越道
(西会津～津川)
延長 8.7km

秋田道
(横手北スマート～大曲)
延長 7.9km

常磐道
(山元南スマート～山元)
延長 5.5km

凡例

- 供用中
 - 6車線 (有料)
 - 4車線 (有料)
 - 4車線 (無料)
 - 4車線 (有料)
 - 2車線 (有料)
 - 2車線 (無料)
- 事業中
 - 4車線以上 (有料)
 - 4車線化 (有料)
 - 2車線 (有料)
 - 2車線 (有料)
 - 2車線 (有料)
 - 2車線 (無料)
 - 2車線 (無料)
- 調査中
 -

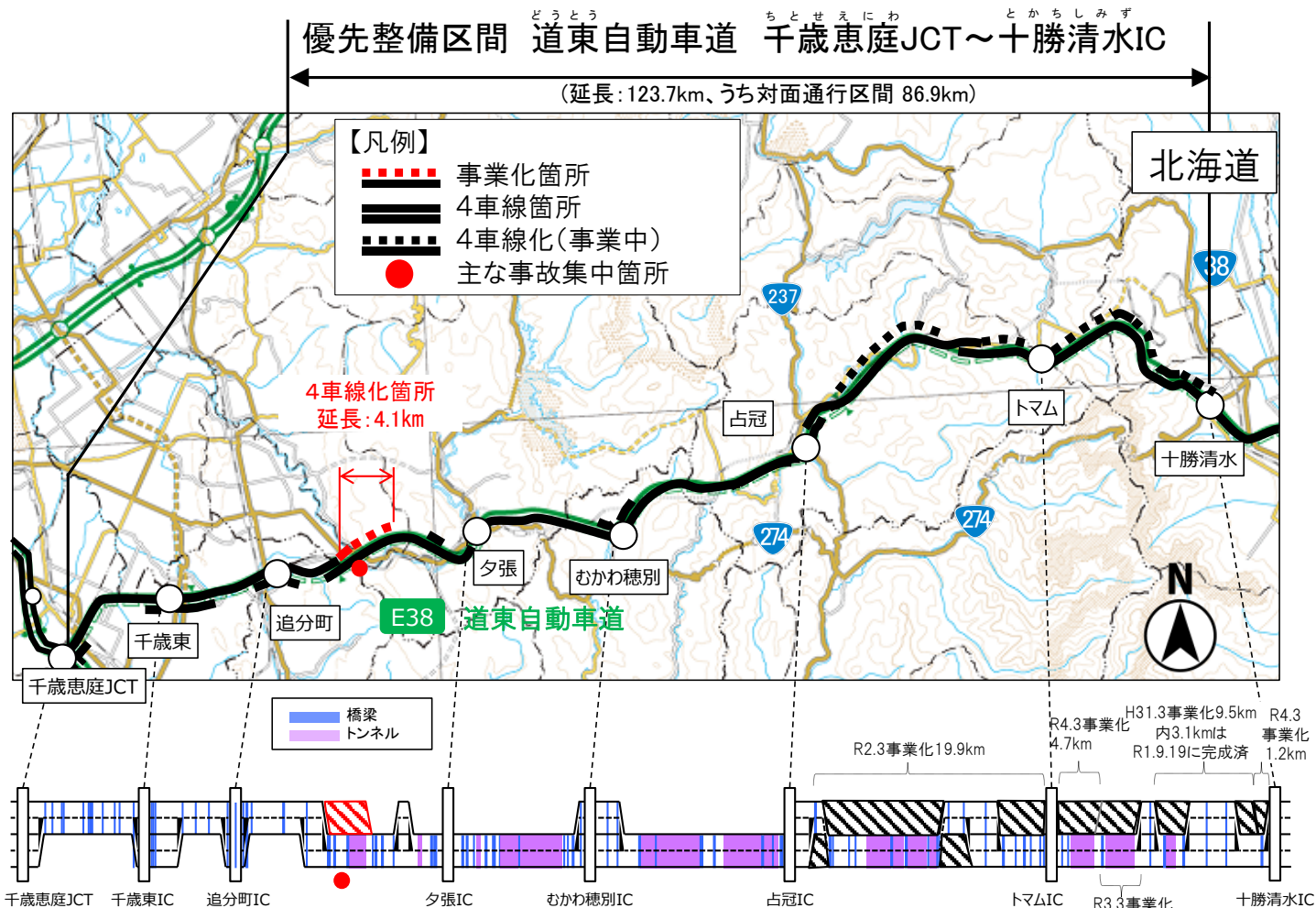
令和5年4月1日現在
注: 事業中区間のIC、JCT名称には仮称を含む

道東自動車道(追分町～夕張)

<事故防止>



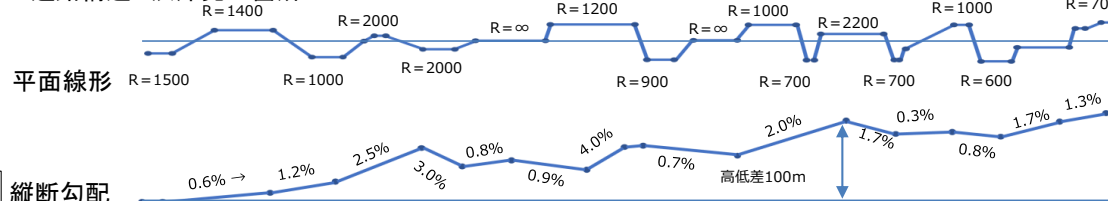
道東自動車道(追分町～夕張)	
延長	: 20.2km
R4交通量	: 約6,200台/日
死傷事故件数 <H30-R4>	: 3件
死傷事故率 <H30-R4>	: 1.81件/億台km



<<事故状況>>



<<道路構造と渋滞発生箇所>>

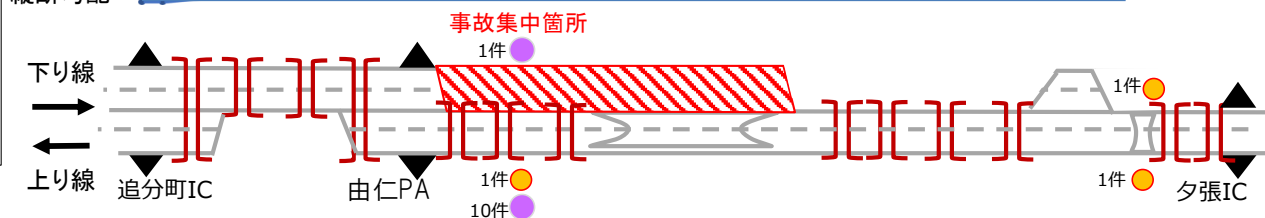


事業費: 約250億円

<IC間事業費: 約700億円>

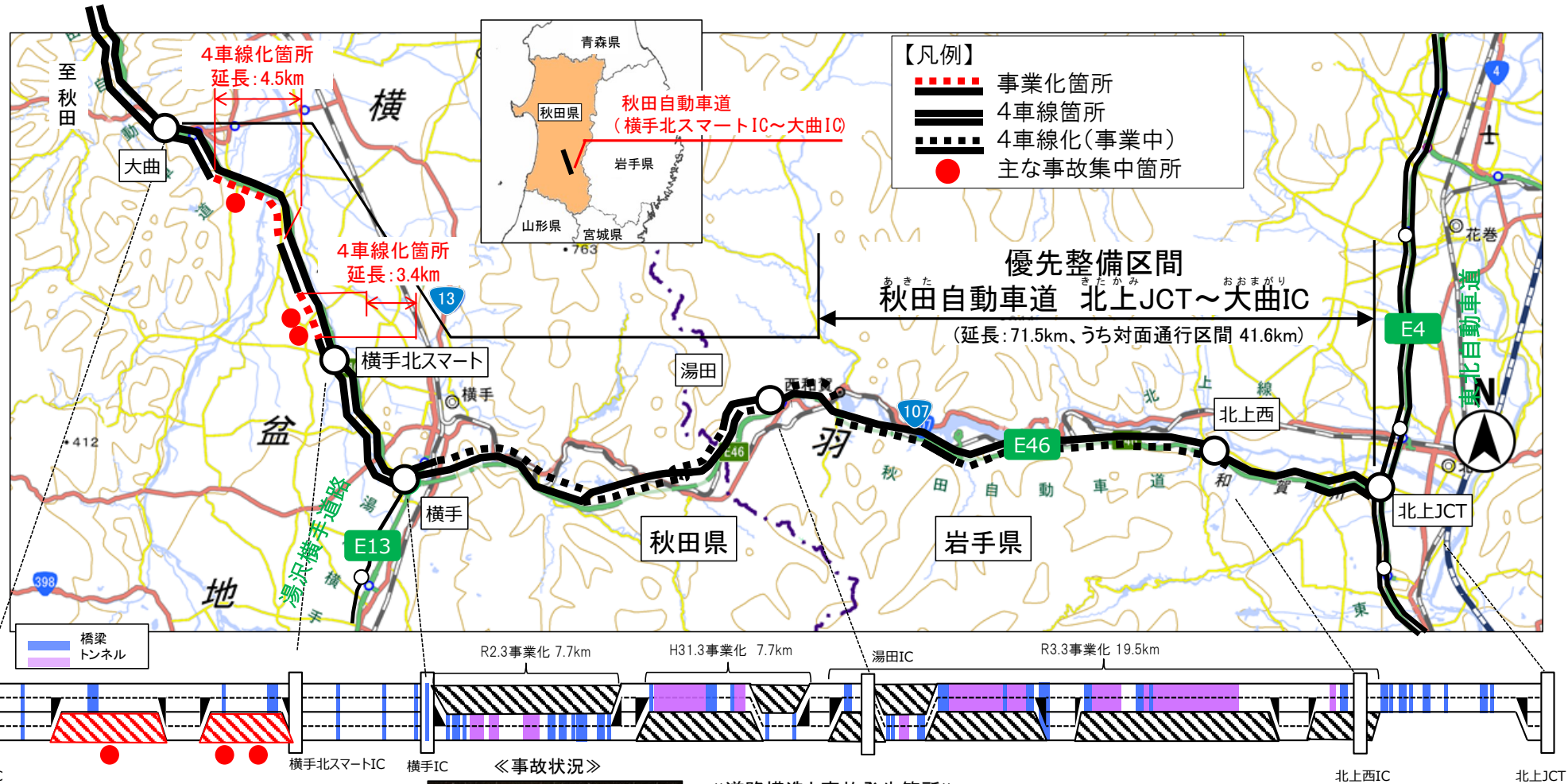
【凡例: H30~R4】

- : 死傷事故
- : 上記以外の事故
-]] : 橋
- ≡ : トンネル



秋田自動車道(横手北スマート～大曲)

<事故防止>



事業費：約360億円

秋田自動車道(横手北スマート～大曲)

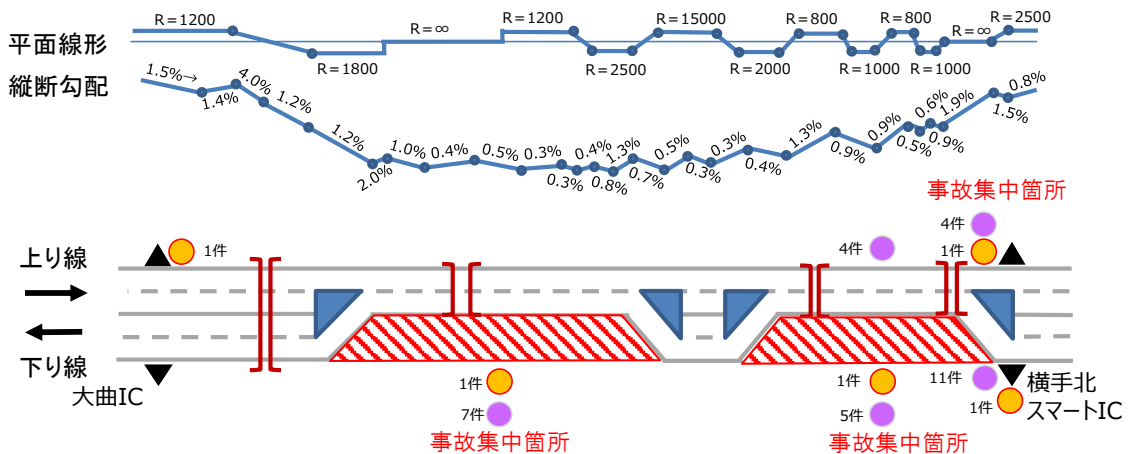
延長 : 14.4km
R4交通量 : 約6,500台/日
死傷事故件数 : 5件
<H30-R4>
死傷事故率 : 2.41件/億台km
<H30-R4>



【凡例:H30～R4】

- : 死傷事故
- : 上記以外の事故
- ∩ : 橋
- ∩ : トンネル

《道路構造と事故発生箇所》



常磐自動車道(山元南スマート～山元)

<事故防止>



常磐自動車道 (山元南スマート～山元)

延長	: 8.3km
R4 交通量	: 約12,100台/日
死傷事故件数 <H30-R4>	: 6件
死傷事故率 <H30-R4>	: 2.60件/億台km

<<事故状況>>



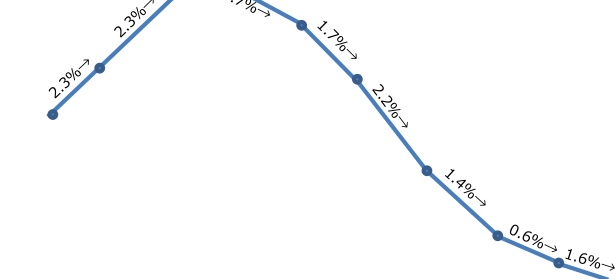
優先整備区間
常磐自動車道
浪江IC～山元IC
(延長:56.1km、
うち対面通行区間 34.2km)

事業費：約210億円

平面線形

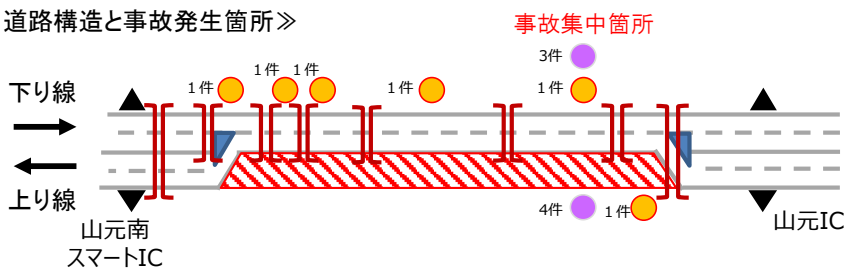


縦断勾配



- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)
 - 主な事故集中箇所

<<道路構造と事故発生箇所>>



- 【凡例:H30～R4】
- : 死傷事故
 - : 上記以外の事故
 - ⌈⌋ : 橋
 - ∩ : トンネル



4車線化箇所
延長:5.5km

R3.3事業化
6.0km

R3.2.27供用
2.8km

R2.3事業化
1.9km

磐越自動車道(西会津～津川)

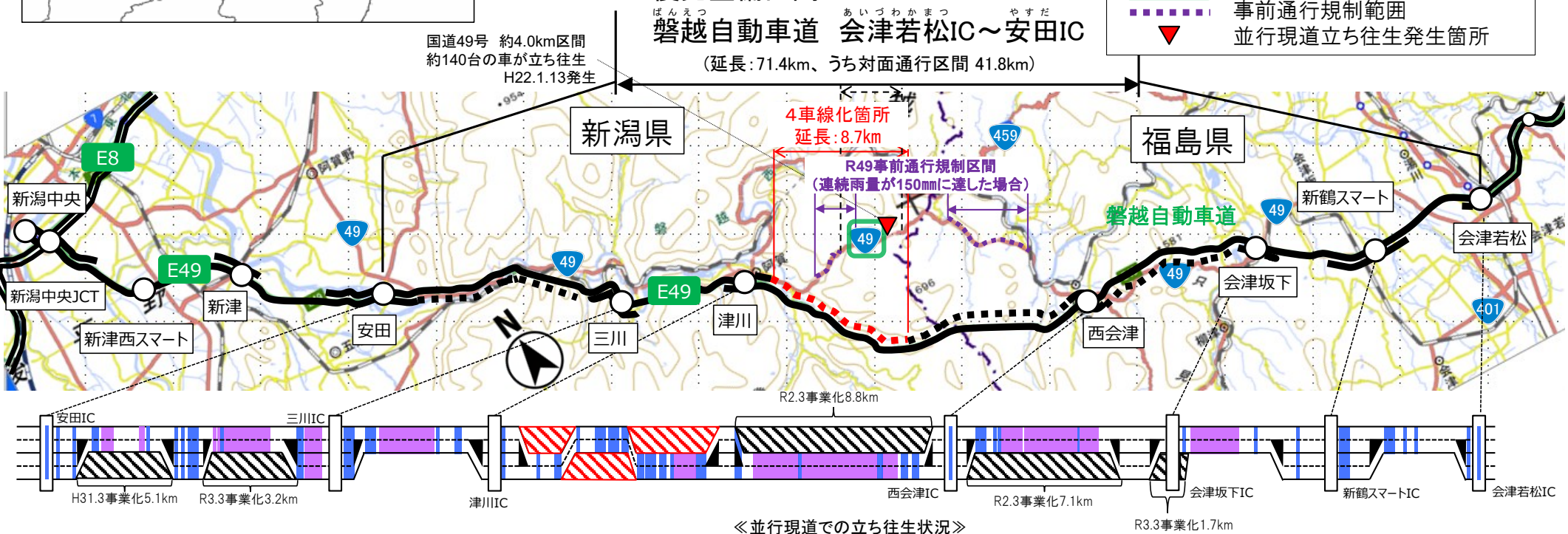
<NWの代替性確保>
(並行現道課題)



磐越自動車道(西会津～津川)
 延長 : 22.4km
 R4交通量 : 約5,300台/日

- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)
 - 事前通行規制がある並行現道
 - 事前通行規制範囲
 - 並行現道立ち往生発生箇所

優先整備区間
 磐越自動車道 会津若松IC～安田IC
 (延長:71.4km、うち対面通行区間 41.8km)



《並行現道での立ち往生状況》

■ 橋梁
 ■ トンネル

積雪期の立ち往生実績
 ・ 国道49号 発生日: H22.1.13 (約11時間)



事業費: 約660億円

東海北陸自動車道(飛驒清見～白川郷)

<事故防止>



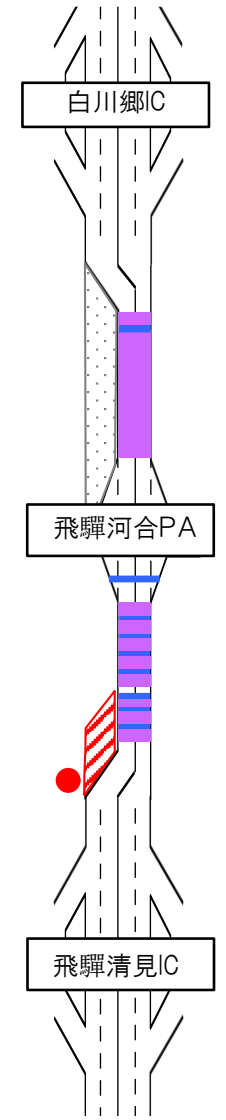
【凡例】

- 事業化箇所
- 準備調査候補箇所
- 4車線箇所
- 4車線化(事業中)
- 主な事故集中箇所

東海北陸自動車道(飛驒清見～白川郷)

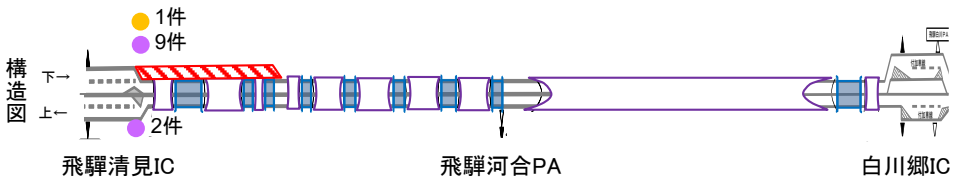
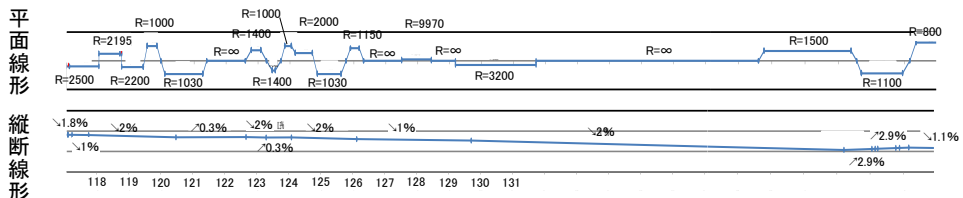
延長 : 24.9km
R4 交通量 : 約7,100台/日
死傷事故件数 : 2件/年
<H30-R4>

優先整備区間
とうかいほくりく
東海北陸自動車道
ひだきよみ なんと
飛驒清見IC～南砺スマートIC
(延長:64.1km、うち対面通行区間区間47.1km)



- トンネル
- 橋梁

《道路構造》



【凡例】

- 橋
- トンネル
- 死傷事故
- 死傷事故以外

事業費：約300億円

<IC間事業費：約2,420億円>

山陰自動車道(松江玉造～宍道JCT)

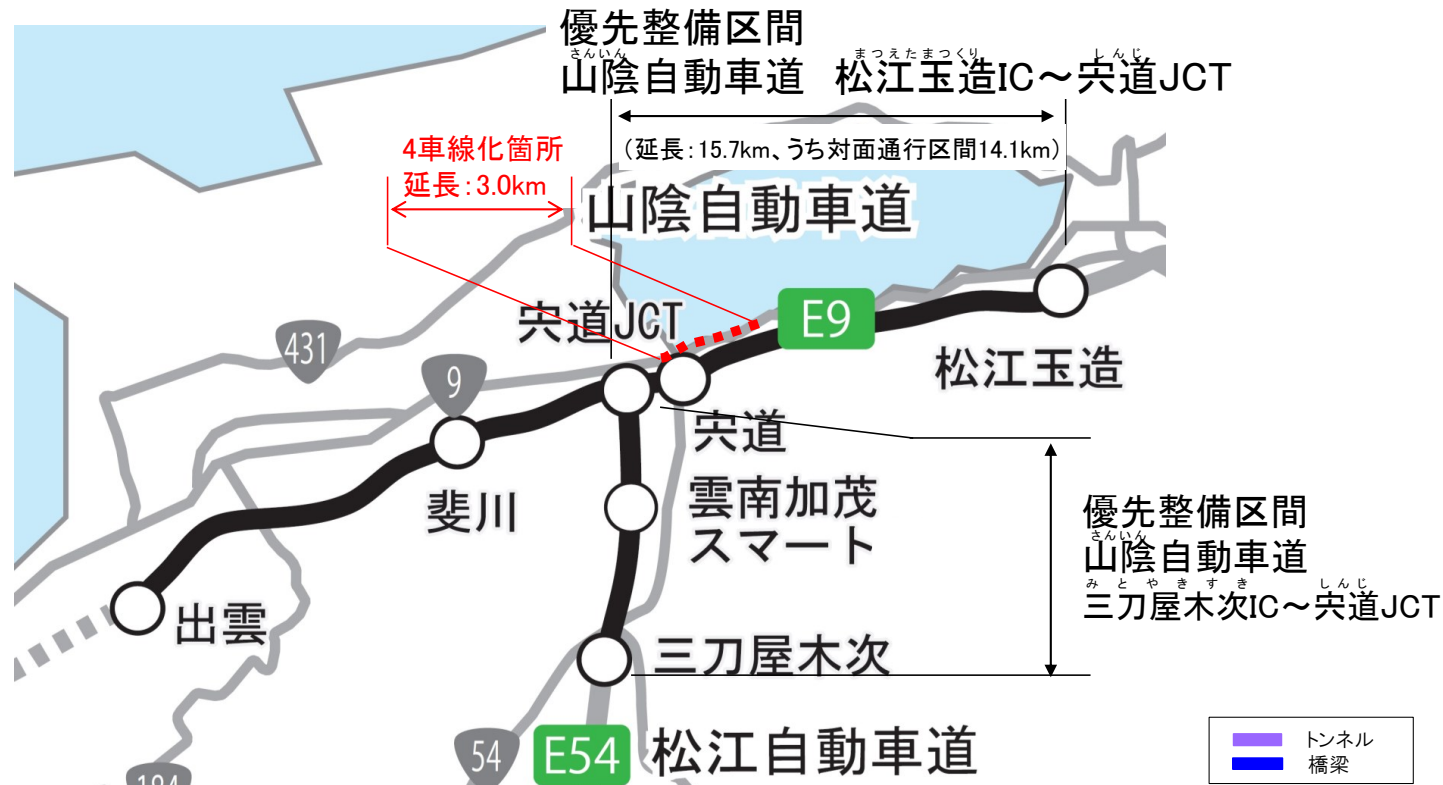
<事故防止>



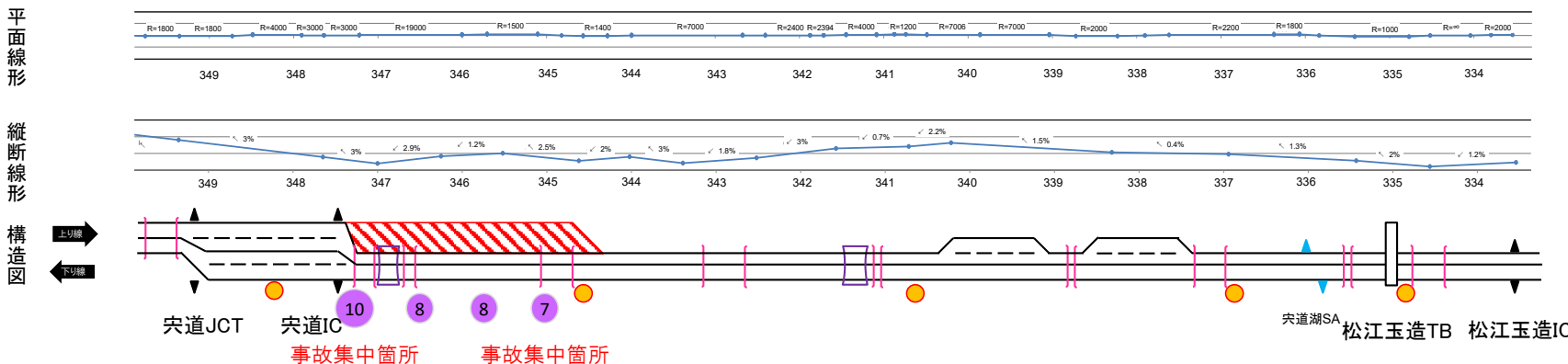
- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)
 - 主な事故集中箇所

山陰自動車道 (松江玉造～宍道JCT)

延長	: 15.7km
R4交通量	: 約11,700台/日
死傷事故件数 <H30-R4>	: 5件
死傷事故率 <H30-R4>	: 1.43件/億台km



<<道路構造>>

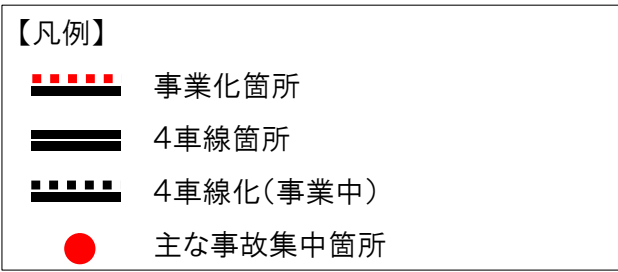


- 【凡例】
-)] 橋梁
 - トンネル
 - 死傷事故
 - 上記以外の事故
- ※○の中の数字は事故件数

事業費: 約180億円
<IC間事業費: 約640億円>

徳島自動車道(美馬～吉野川SAスマート)

<事故防止>



徳島自動車道 (美馬～吉野川SAスマート)

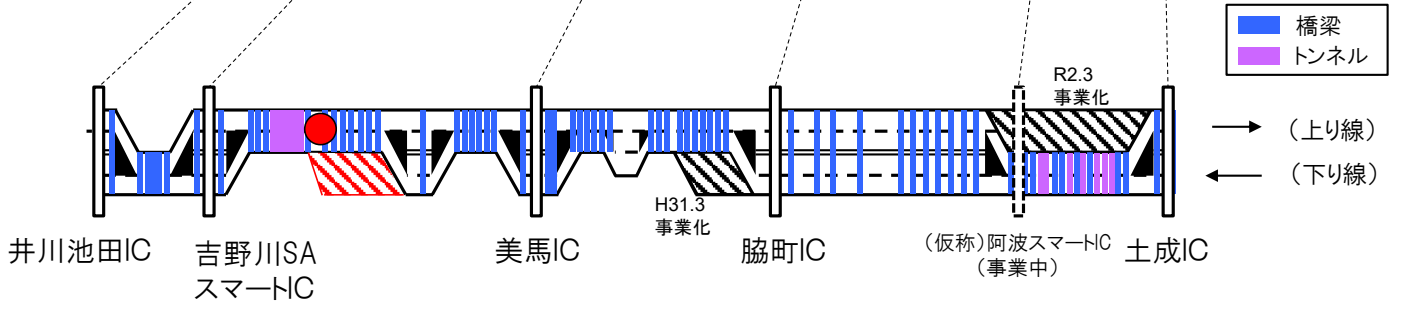
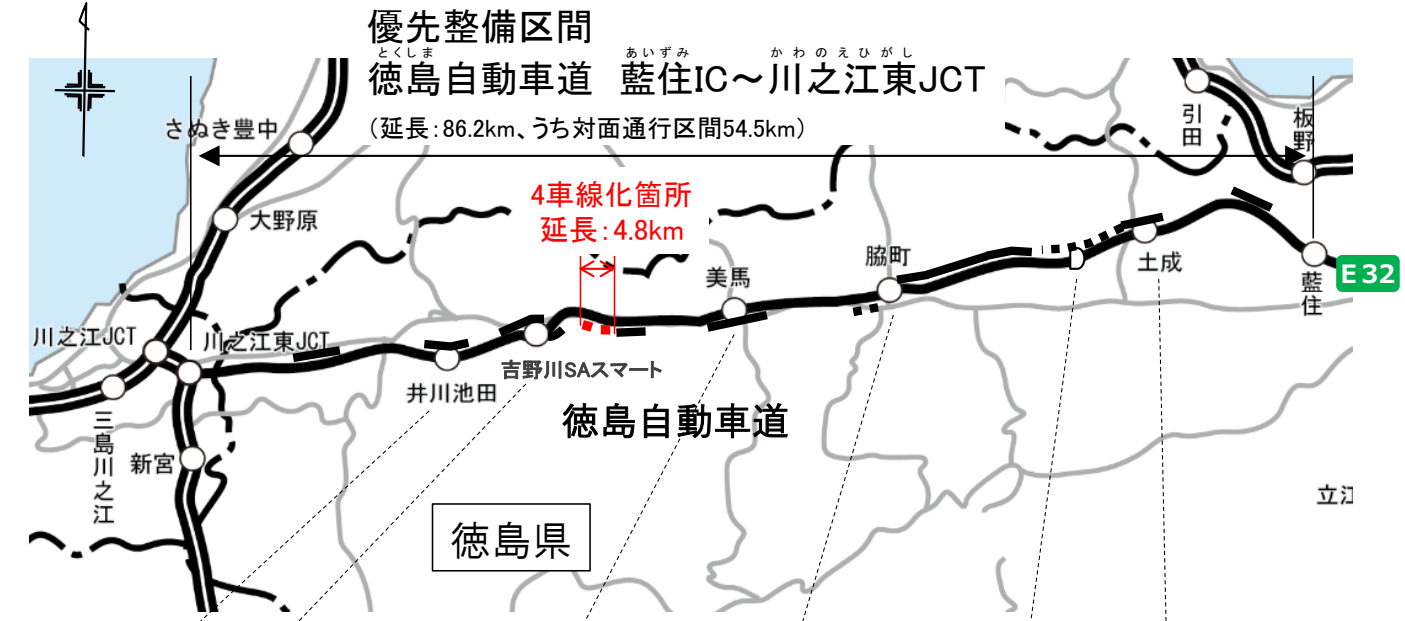
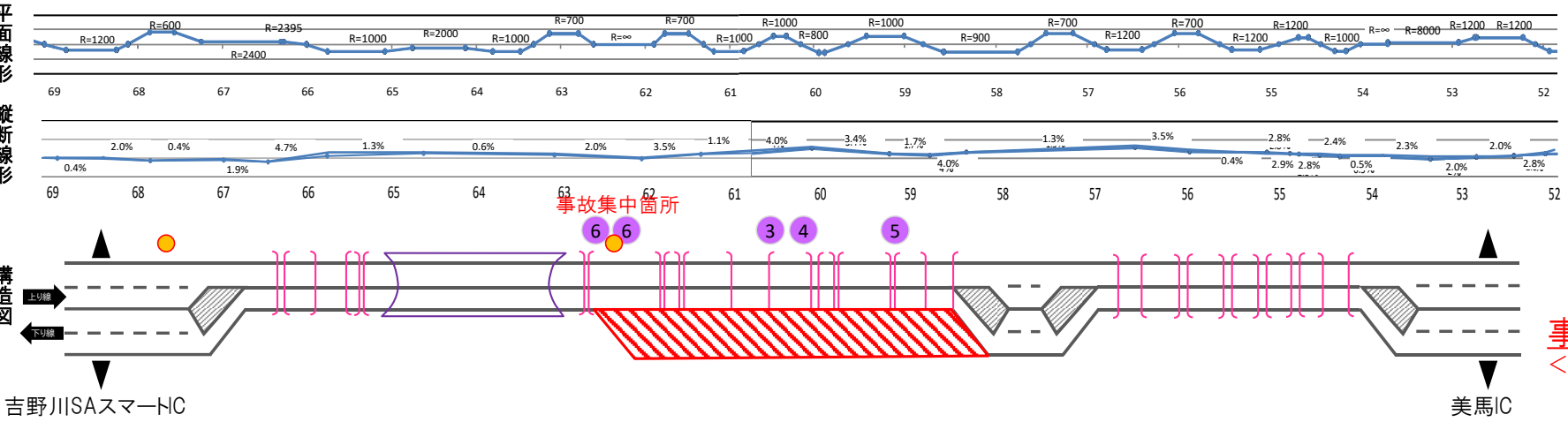
延長 : 15.8 km

R4交通量 : 約6,300 台/日

死傷事故件数 : 2 件
<H30-R4>

死傷事故率 : 1.06 件/億台km
<H30-R4>

<<道路構造>>



※○の中の数字は事故件数

事業費: 約260億円
<IC間事業費: 約800億円>

まつやま いよ うちこい かざき 松山自動車道(伊予～内子五十崎)

<時間信頼性(渋滞)>



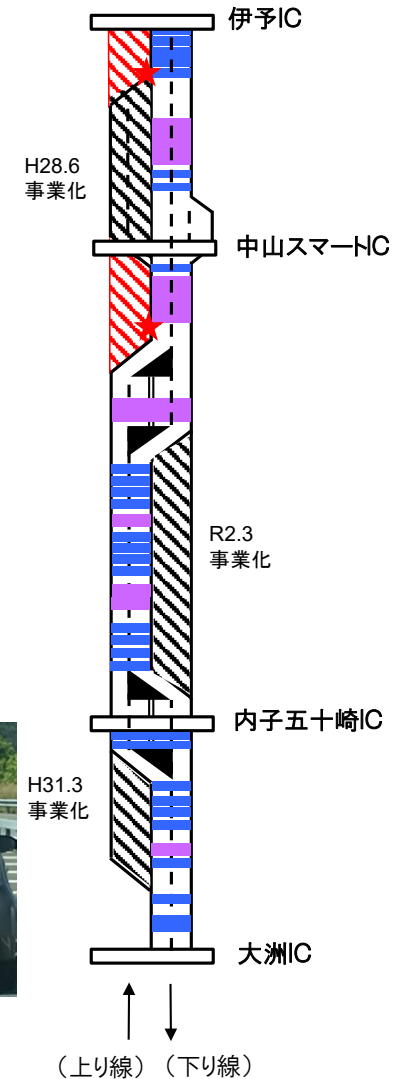
- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)
 - ★ 主な渋滞箇所

松山自動車道 (伊予～内子五十崎)

延長 : 24.0 km

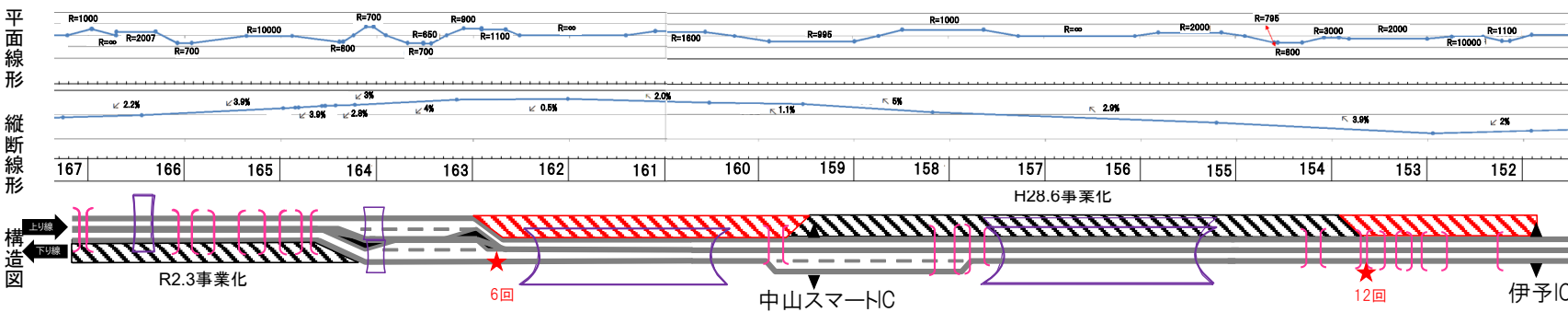
R4 交通量 : 約11,600 台/日

渋滞回数 : 29 件
<H30-R4>



<<道路構造>>

〔 〕 橋 □ トンネル ★ 主な渋滞箇所



事業費: 約400億円

東九州自動車道 < 椎田道路 > (みやこ豊津～築城)

< NWの代替性確保 >
(年間通行止め)



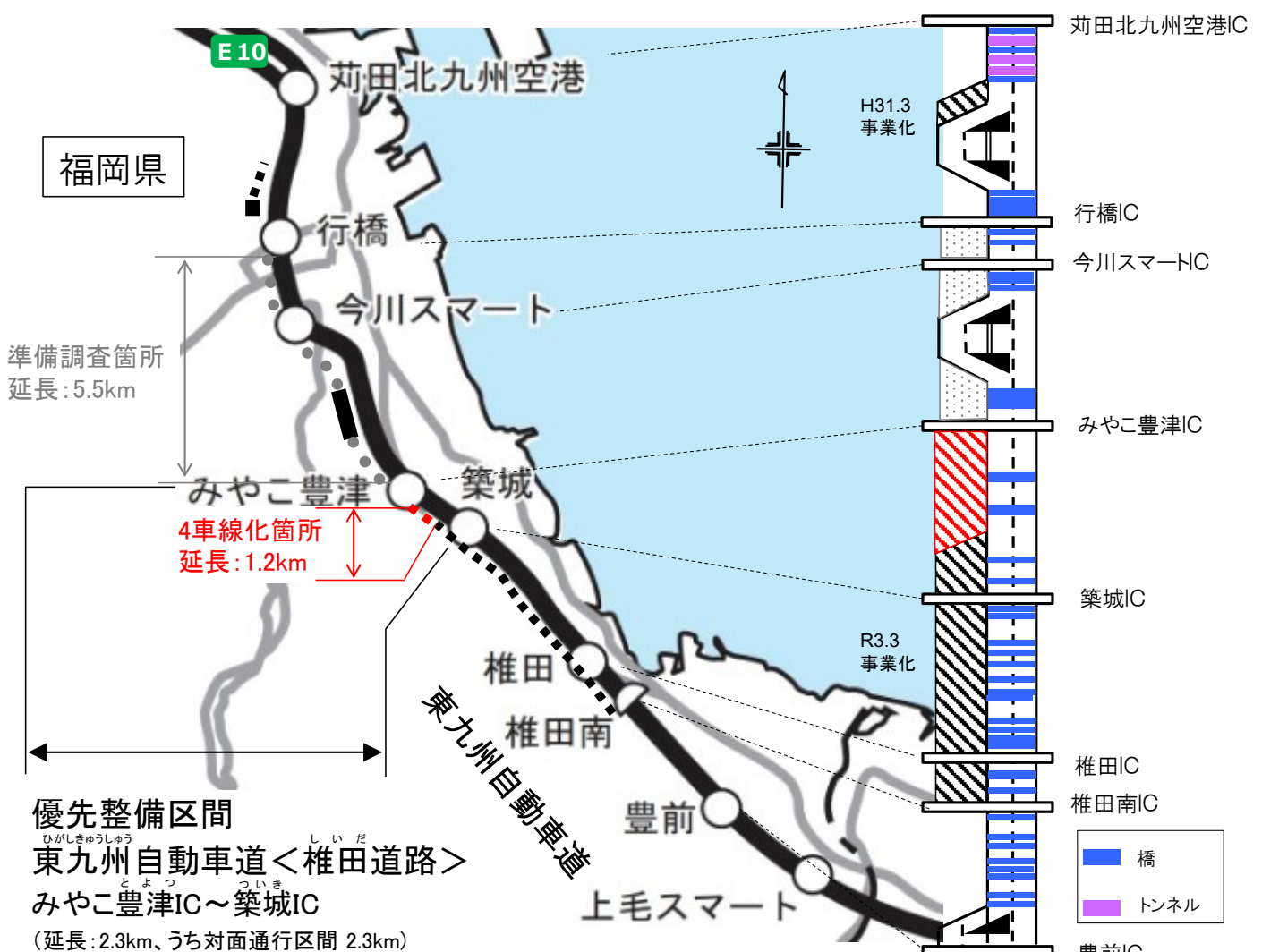
- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 準備調査箇所
 - 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)

東九州自動車道< 椎田道路 >
(みやこ豊津～築城)

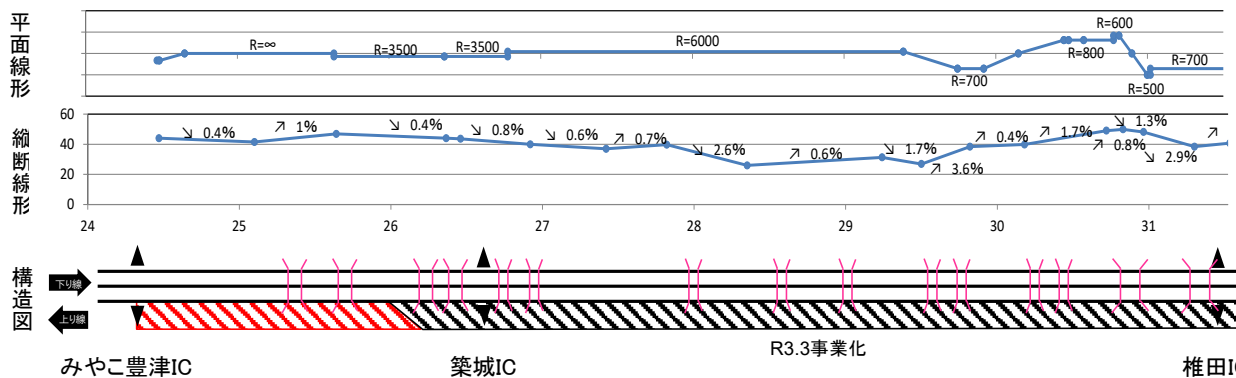
延長 : 2.3 km

R4 交通量 : 約13,700 台/日

通行止時間 : 110.6 時間/年
<H30-R4>
(災害・雪・雨) (0%・67%・29%)



<< 道路構造 >>



- 【凡例】
- ⌋ 橋
 - トンネル

事業費：約70億円

東九州自動車道(末吉財部～国分)

<事故防止>



- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)
 - 主な事故集中箇所

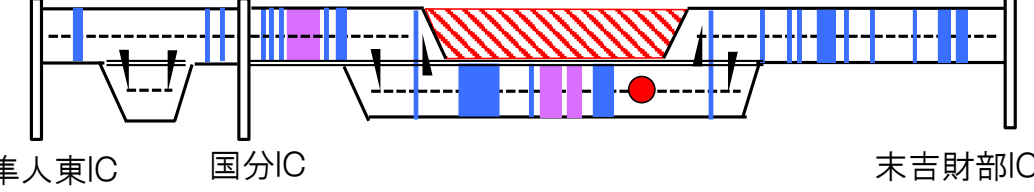
東九州自動車道 (末吉財部 ～ 国分)

延長 : 22.5 km

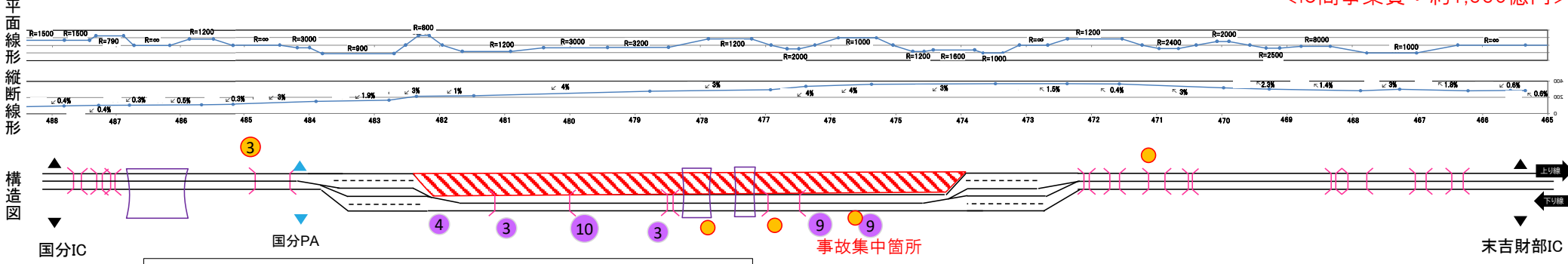
R4 交通量 : 約8,100 台/日

死傷事故件数 : 7 件
<H30-R4>

死傷事故率 : 2.09 件/億台km
<H30-R4>



事業費: 約520億円
<IC間事業費: 約1,330億円>



- 【凡例】
-)(橋
 - トンネル
 - 死傷事故
 - 左記以外の事故

※○の中の数字は事故件数

にしきゅうしゅう たけおさせほ はさみありた
西九州自動車道<武雄佐世保道路> (武雄南~波佐見有田) <NWの代替性確保> (年間通行止め)



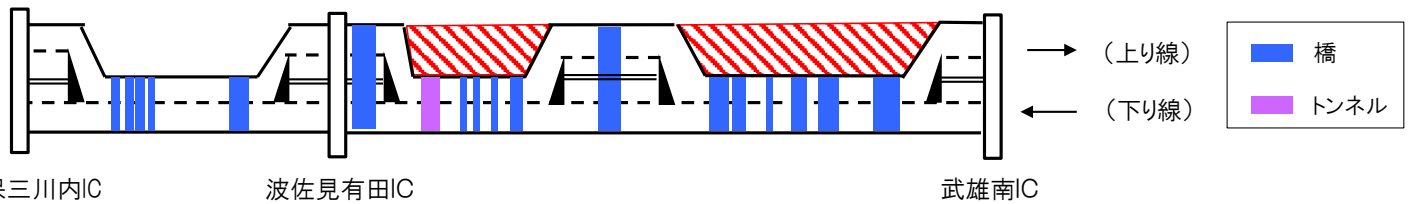
- 【凡例】
- 事業化箇所
 - ▬ 4車線箇所
 - ▬ 4車線化(事業中)

西九州自動車道<武雄佐世保道路>
 (武雄南 ~ 波佐見有田)

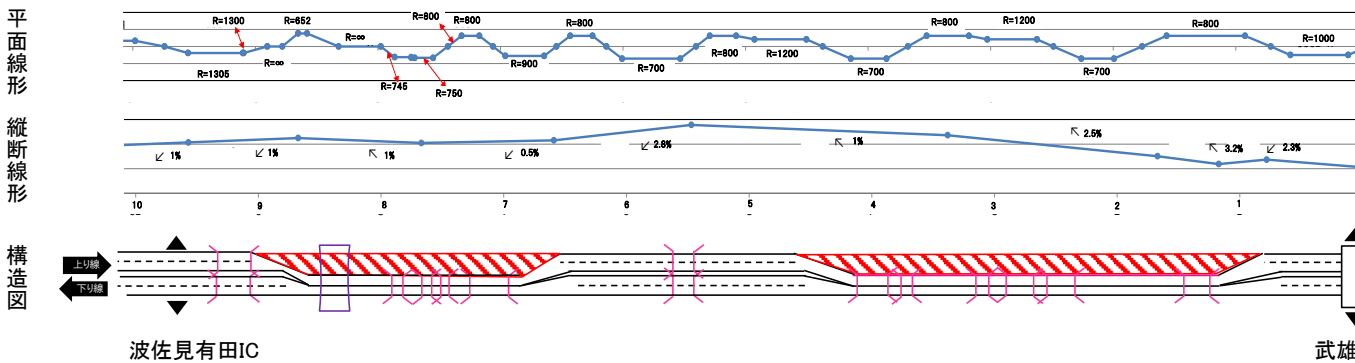
延長 : 9.5 km

R4交通量 : 約9,000 台/日

通行止時間 : 112.5 時間/年
 <H30-R4>
 (災害・雪・雨) (0%・66%・34%)



≪道路構造≫



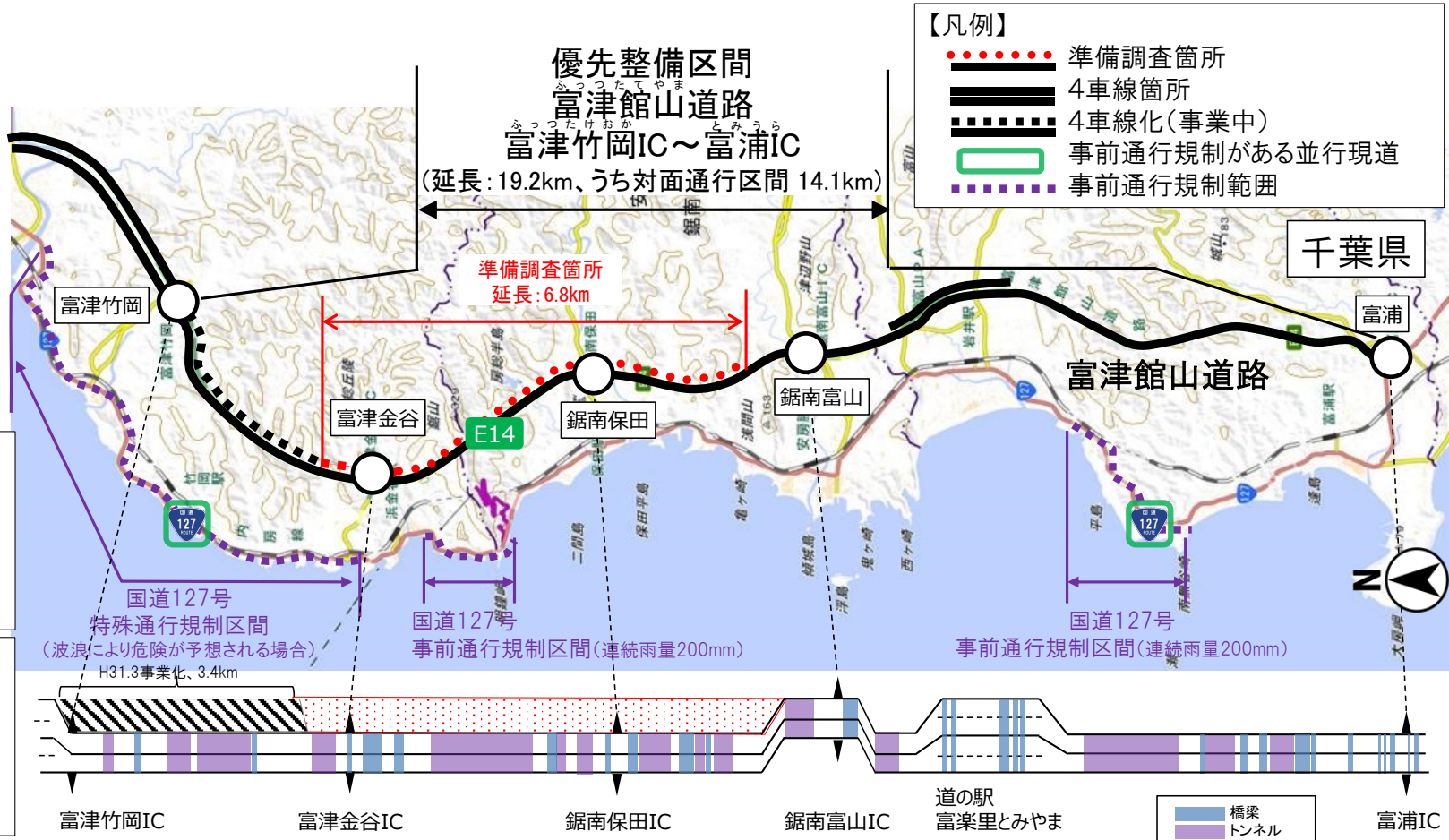
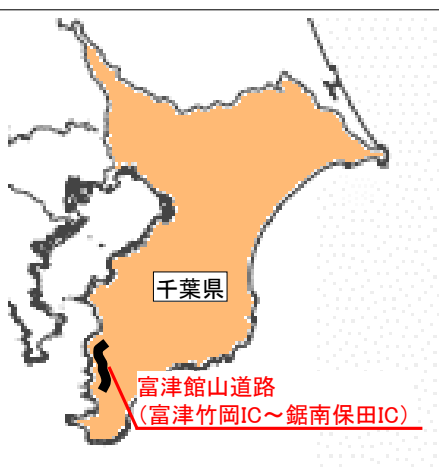
- 【凡例】
- ⌋ 橋
 - ⌋ トンネル

事業費：約350億円

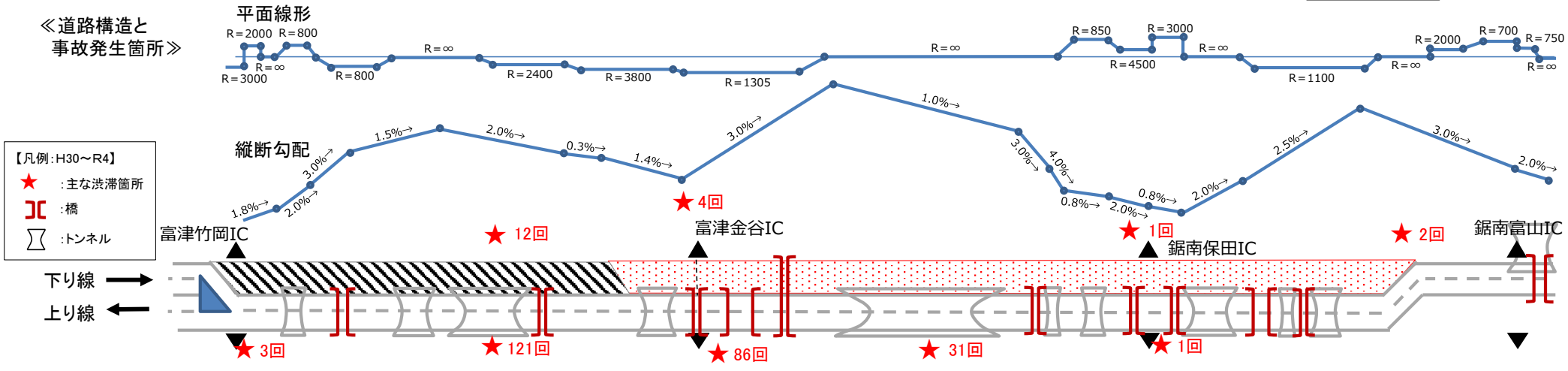
富津館山道路(富津竹岡～鋸南保田)

<時間信頼性(渋滞)>

- 【凡例】
- 準備調査箇所
 - ▬▬▬▬ 4車線箇所
 - ▬▬▬▬ 4車線化(事業中)
 - ▭ 事前通行規制がある並行現道
 - ⋯⋯⋯ 事前通行規制範囲



《道路構造と事故発生箇所》



東海北陸自動車道(飛驒清見~白川郷)

<時間信頼性(渋滞)>



【凡例】

- 事業化箇所
- 準備調査候補箇所
- 4車線箇所
- 4車線化(事業中)
- 主な事故集中箇所

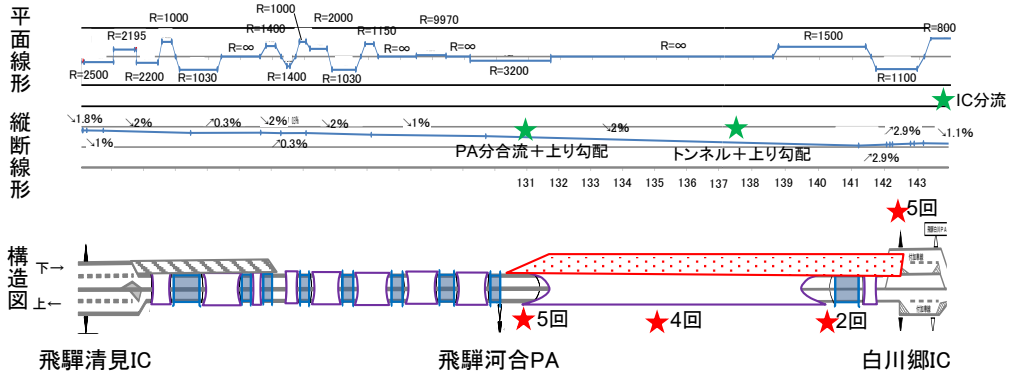
東海北陸自動車道(飛驒清見~白川郷)

延長 : 24.9km
R4 交通量 : 約7,100台/日
渋滞回数 : 4.6回/年

優先整備区間

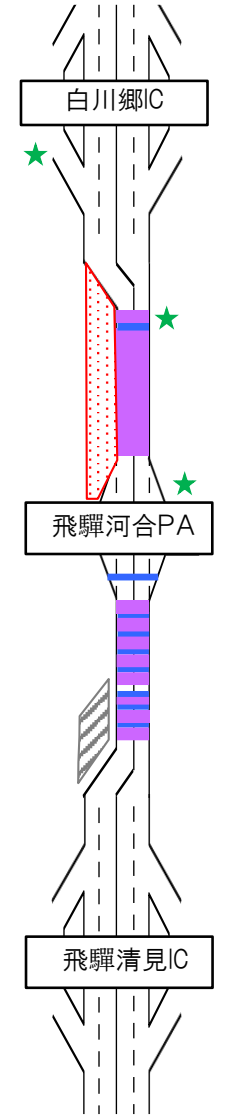
とうかいほくりく
東海北陸自動車道
ひだきよみ なんと
飛驒清見IC~南砺スマートIC
(延長:64.1km、うち対面通行区間区間47.1km)

《道路構造》



【凡例】

- 橋
- トンネル
- 主な渋滞箇所
- ボトルネック要因



- トンネル
- 橋梁

舞鶴若狭自動車道 (三方五湖スマート～若狭三方)

<事故防止>



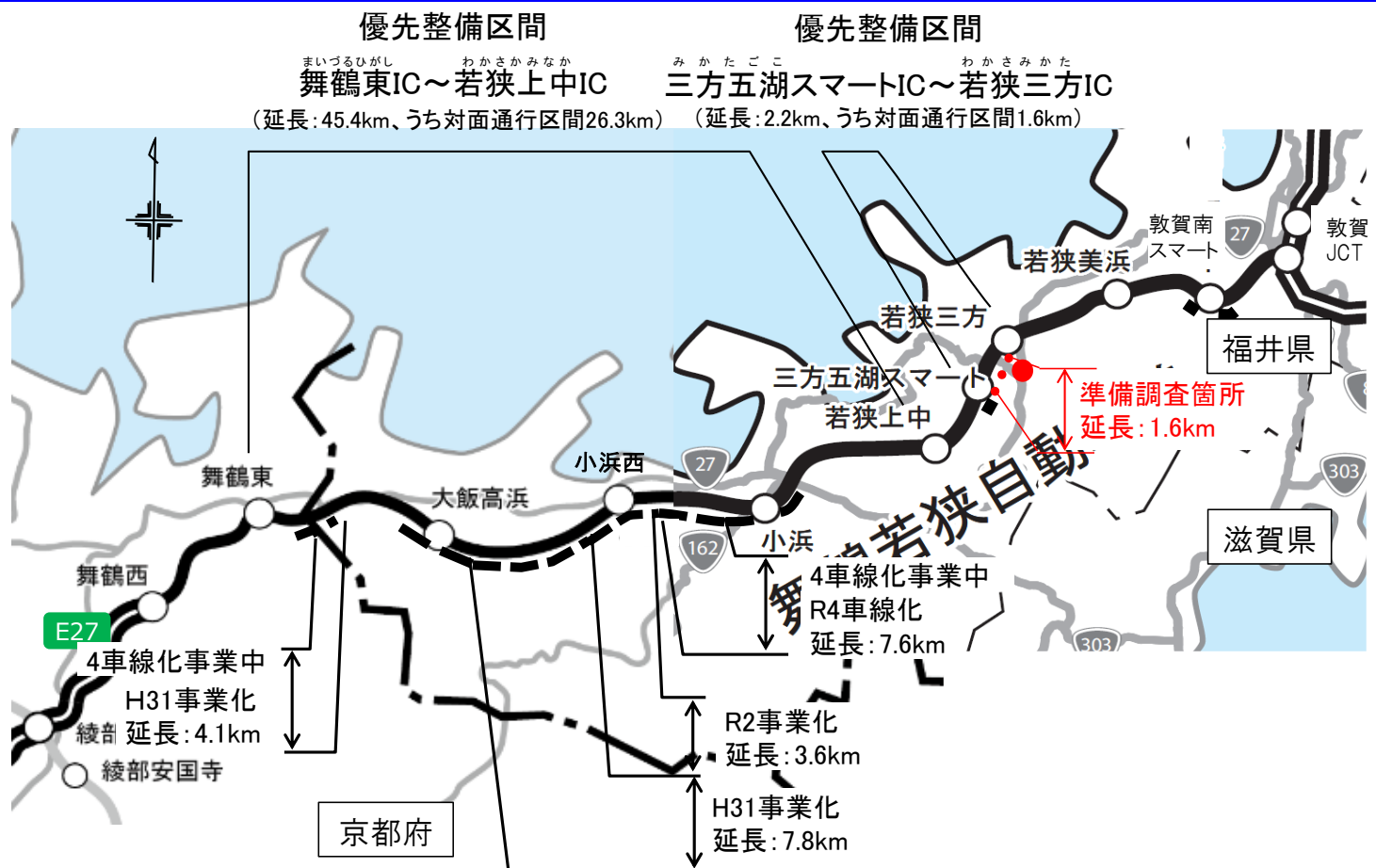
- 【凡例】
- 準備調査箇所
 - ▬ 4車線箇所
 - ▬ 4車線化(事業中)
 - 主な事故集中箇所

舞鶴若狭自動車道
(三方五湖スマート～若狭三方)

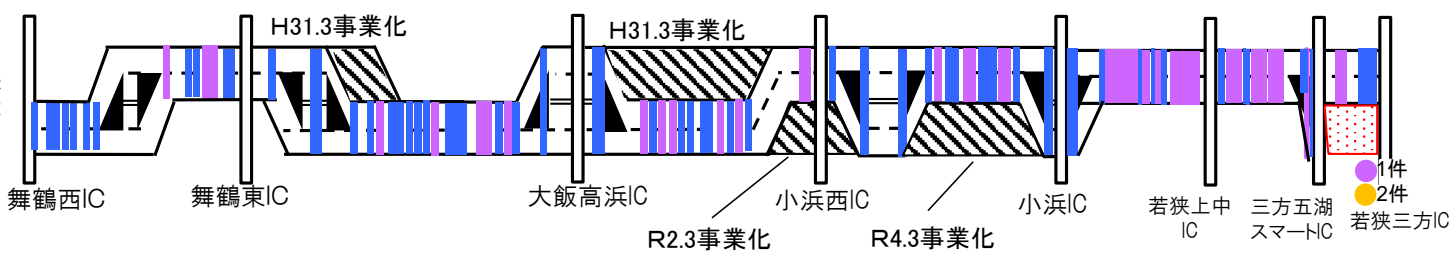
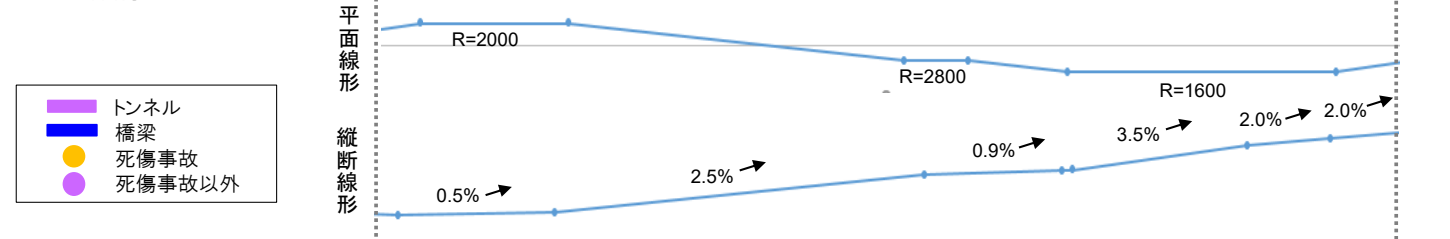
延長 : 2.2km

R4交通量 : 約7,100台/日

死傷事故率 : 6.9件/億台km
<H30-R4>



《道路構造》



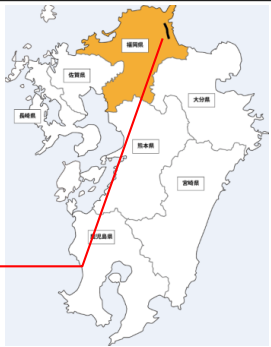
東九州自動車道(行橋～みやこ豊津)

ひがし きゅうしゅう

ゆくはし

とよつ

<NWの代替性確保>
(年間通行止め)



東九州自動車道
(行橋IC～みやこ豊津IC)

【凡例】

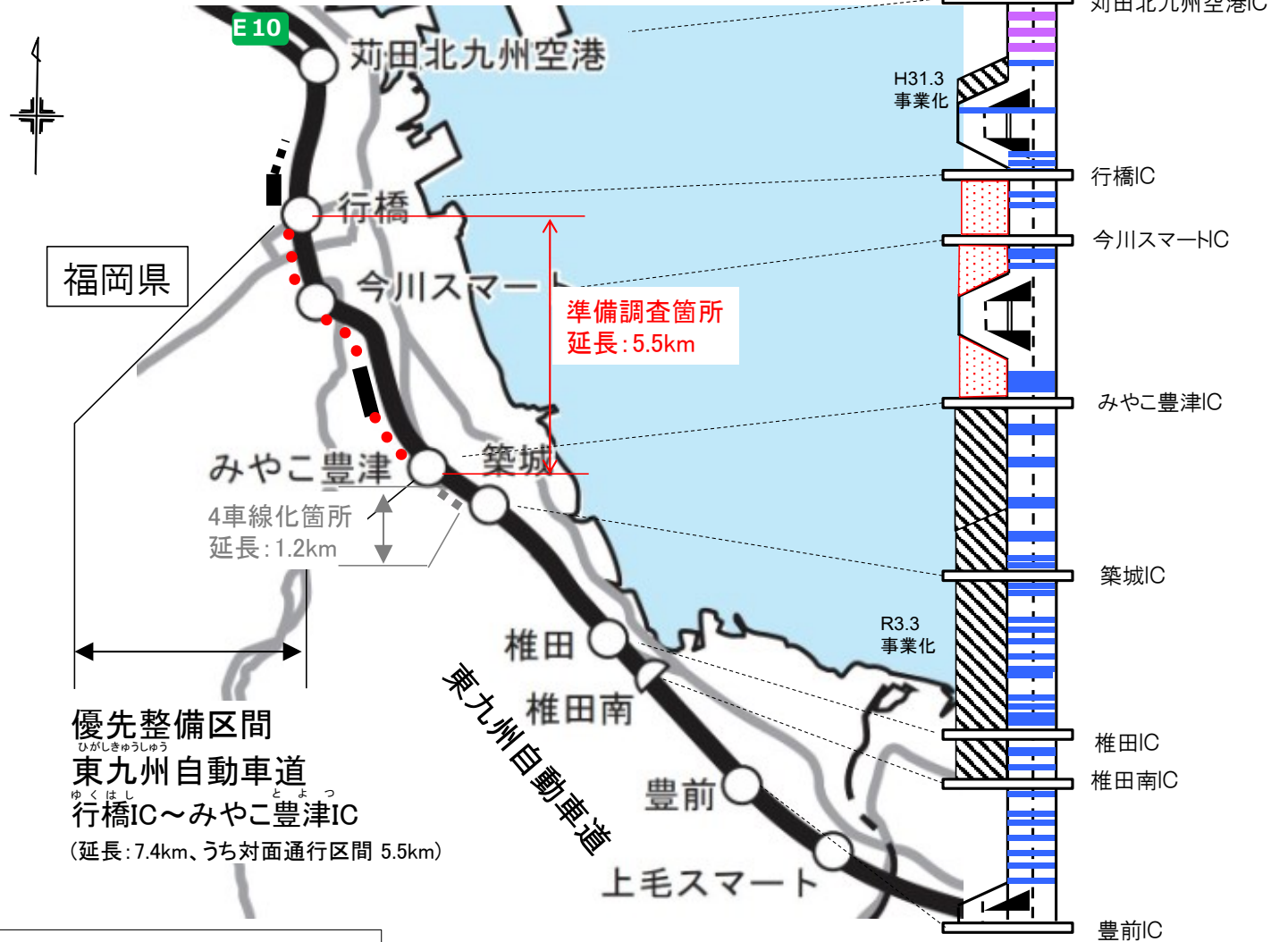
- 事業化箇所
- 準備調査箇所
- 4車線箇所
- 4車線化(事業中)

東九州自動車道(行橋～今川スマート)

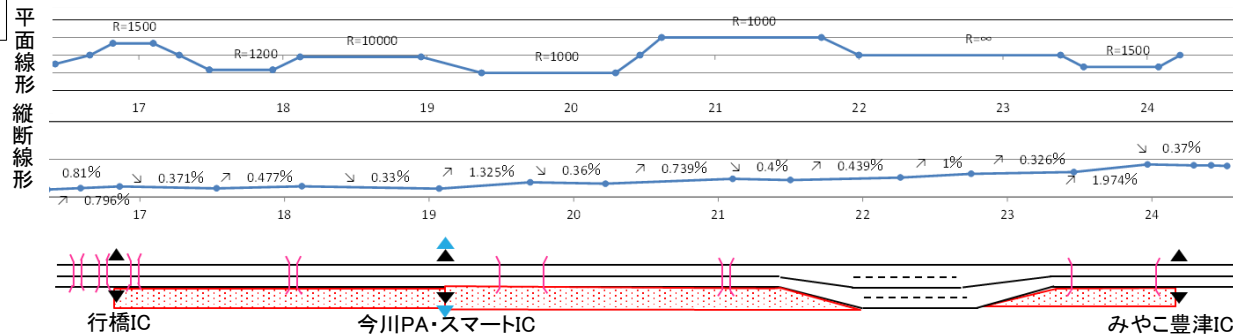
延長 : 2.3 km
R4 交通量 : 約12,400 台/日
通行止時間 : 110.6 時間/年
<H30-R4>
(災害・雪・雨) (0%・67%・25%)

東九州自動車道(今川スマート～みやこ豊津)

延長 : 5.1 km
R4 交通量 : 約11,700 台/日
通行止時間 : 110.6 時間/年
<H30-R4>
(災害・雪・雨) (0%・67%・25%)



【凡例】 橋 トンネル



- 橋
- トンネル

東九州自動車道(臼杵～津久見)

<事故防止>



- 【凡例】
- 準備調査箇所
 - ==== 4車線箇所
 - 4車線化(事業中)
 - 主な事故集中箇所

東九州自動車道 (臼杵～津久見)

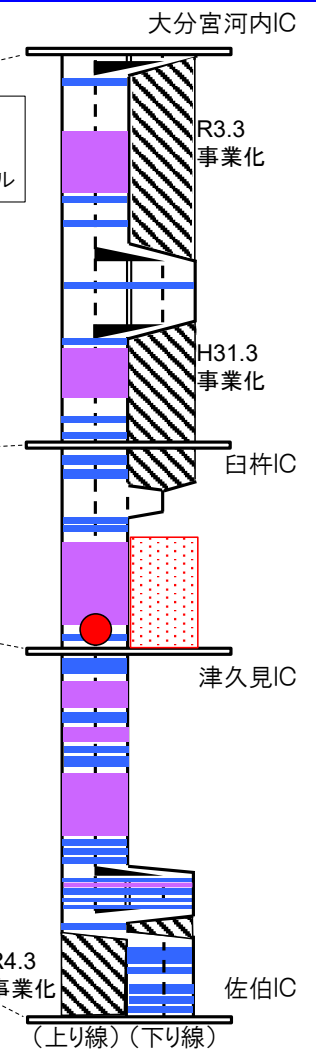
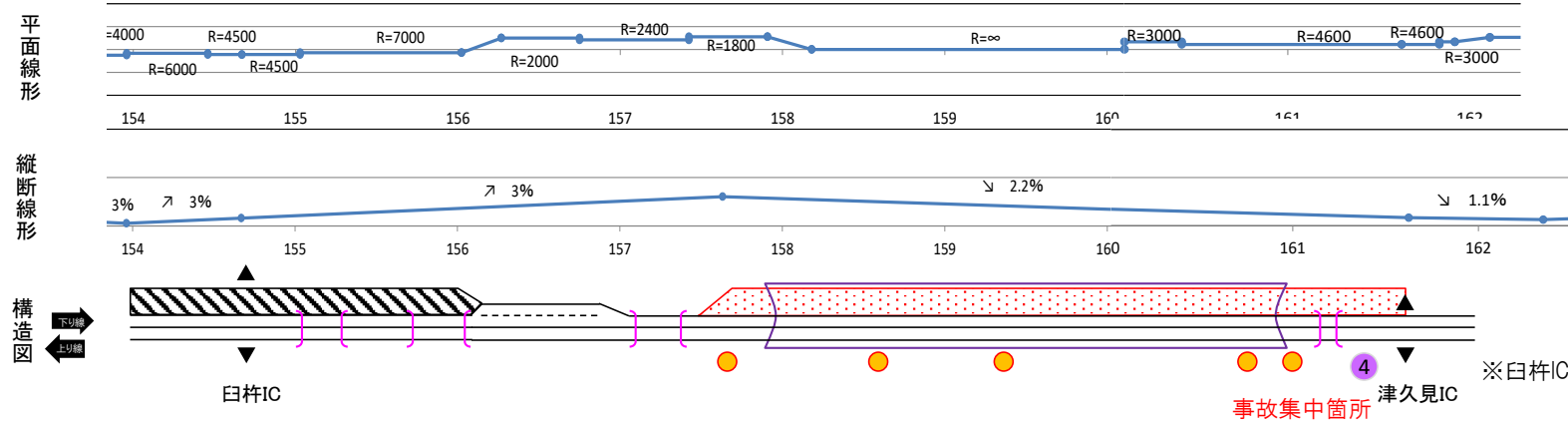
延長 : 7.0 km

R4 交通量 : 約10,100 台/日

死傷事故件数 : 5 件
<H30-R4>

死傷事故率 : 3.71 件/億台km
<H30-R4>

《道路構造》



- 【凡例】
- {} 橋
 - ▭ トンネル
 - 死傷事故
 - 左記以外の事故

※○の中の数字は事故件数

※臼杵IC側の擦り付け位置については別途検討が必要